

木曾駒ヶ岳 & 宝剣岳

[実施日—2023年7月25～26日]



(メンバー) —計 6名 木村、楠部、岡本、八木、上畑、有本

⑤ (中岳)



⑥ (木曾駒ヶ岳)



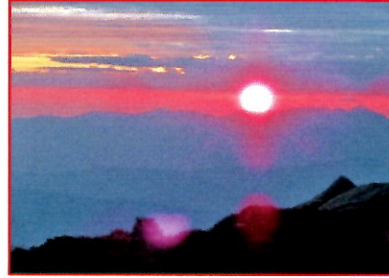
(雷鳥)



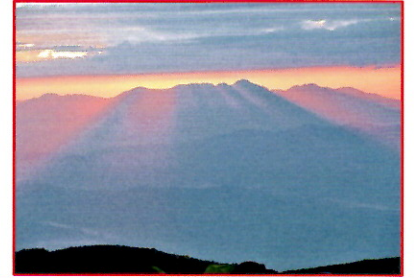
④ (宝剣岳—2)



(御来光)



(上の雲に隠れ、光柱に)



③ (宝剣岳—1)



⑦ (濃ヶ池周回コース—馬の背)



② (宝剣岳への鎖場)



(ロードマップ)



⑧ (濃ヶ池)



① (千畳敷カール)



⑨ (千畳敷カールへ下山)



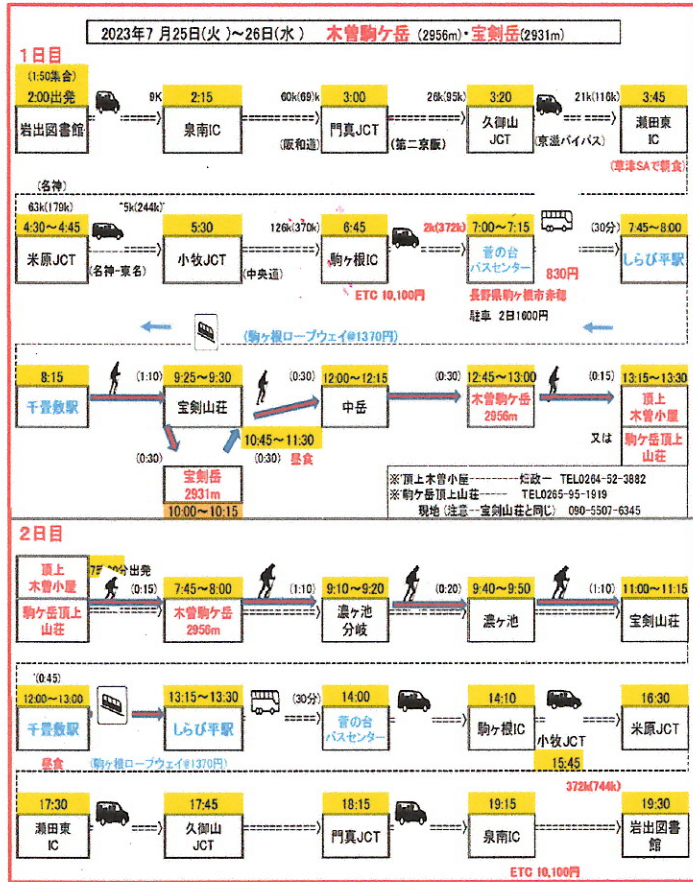
木曾駒ヶ岳 & 宝剣岳

紀峰山の会 (弥生班)

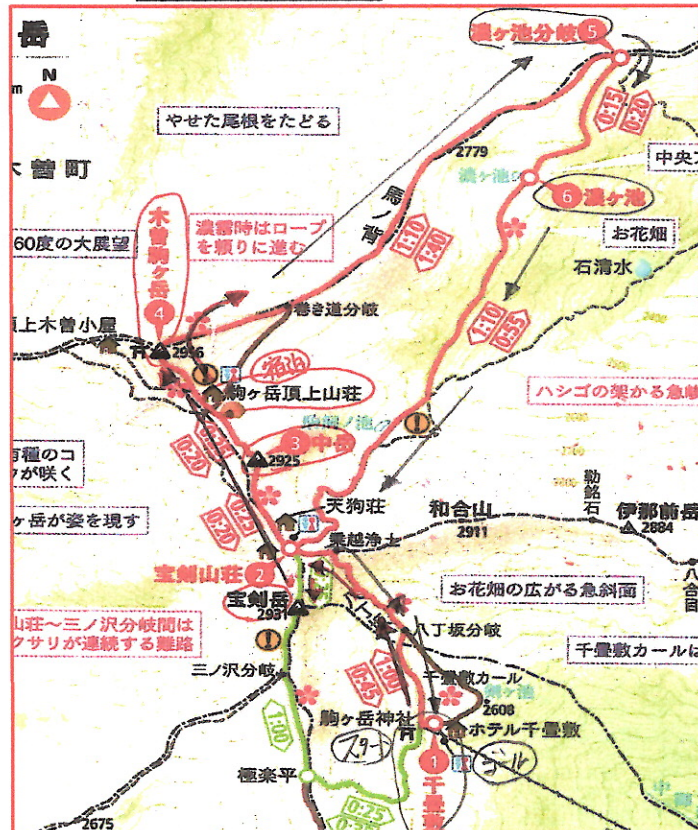
※(山行日) 2023年7月25~26日

(メンバー) 計6名
木村、楠部、岡本、八木、上畑、有本

※(行程) [予定]



(ロードマップ)



※(行程) [結果]

(往路---車移動)

- 岩出図書館 (出発) 2:00
- 菅の台バスセンター (到着) 7:15

(山行)

1日目

- ① しらび平駅 8:15
- ② 千畳敷駅 8:30
- ③ 宝剣山荘 9:30
- ④ (宝剣岳) 10:00
- ⑤ 中岳 12:00
- ⑥ 木曾駒ヶ岳 13:15
- ⑦ 頂上山荘 14:30

2日目

- ⑧ 山荘出発 6:15
- ⑨ 濃ヶ池分岐 8:00
- ⑩ 濃ヶ池 8:30
- ⑪ 乗越浄土 10:40
- ⑫ 千畳敷駅 11:45
- ⑬ しらび平駅 12:00
- ⑭ 菅の台バスセンター 12:30
- ⑮ 早太郎温泉こまくさのの湯 14:15

(帰路---車移動)

- 駐車場 (出発) 15:15
- 岩出図書館 (到着) 20:30

※[はじめに]

(木曾駒ヶ岳)

- ・木曾駒ヶ岳は標高 2,956m の山で、木曾山脈 (中央アルプス) の最高峰。日本百名山に選定されている。
- ・木曾駒ヶ岳は、本岳 (2956m)・中岳 (2925m)・宝剣岳 (2931m)・伊那前岳 (2883m) などからなる山の総称する場合もある。
- ・南アルプスの甲斐駒ヶ岳とこの木曾駒ヶ岳に挟まれる伊那谷では、木曾駒ヶ岳を **西駒ヶ岳** または **西駒**、甲斐駒ヶ岳を **東駒ヶ岳** または **東駒** と呼ぶこともある。
- ・千畳敷駅までは駒ヶ岳ロープウェイ「しらび平駅」から約 8 分。ロープウェイを降りると目の前には絶景の千畳敷カールが広がり、約 2 万年前に氷河によって削られた山肌に高山植物が咲き乱れます。

(写真1) (7:15 菅の台バスセンター到着)



(千畳敷駅で登山届)

(写真2) (千畳敷カールから宝剣岳をバックに)



(写真3) (千畳敷カールに行く)



(写真4) (乗越浄土から1班2名は宝剣岳へ)



(写真5) (宝剣岳への鎖場)



(写真6) (宝剣岳 山頂)



(写真7) (宝剣岳山頂から山荘を望む)



(写真 8) (中岳で合流)



・ここで昼食

(写真 9) (中岳をバックにいざ木曾駒ヶ岳へ)



(写真 10) (展望が開け小休止)



(写真 11) (13:15 木曾駒ヶ岳 到着)



(写真 12) (雷鳥に遭遇)



(写真 13) (御来光)



(写真 14) (上の雲に隠れ、光柱に)



(写真15) (6:15 出発 頂上山荘)



・本日は、濃ヶ池周回コースへ

(写真16) (馬の背から)



・御嶽山と雲海をバックに---晴天！

(写真17) (濃ヶ池分岐点)



(写真18) (濃ヶ池-その1)



(写真19) (濃ヶ池---その2)



(写真20) (千畳敷カールへ下山)



※[最後に]

- ①特にトラブルはなかったが、千畳敷カールの登りと下りが混雑した。登り優先であるが、切れ目がなく立ち往生したこともあった。
- ②当日は天気がよく、千畳敷カールでは様々な高山植物の観賞ができ、山荘付近では雷鳥に遭遇し、翌日は御来光も仰ぎ心が癒された。

- ③二日目の濃ヶ池周回コースは、思った以上に距離と上り下りがあり疲労したが、御嶽山や中央アルプスの展望が開け、景色を堪能し、メンバー全員が満足の山行となった。